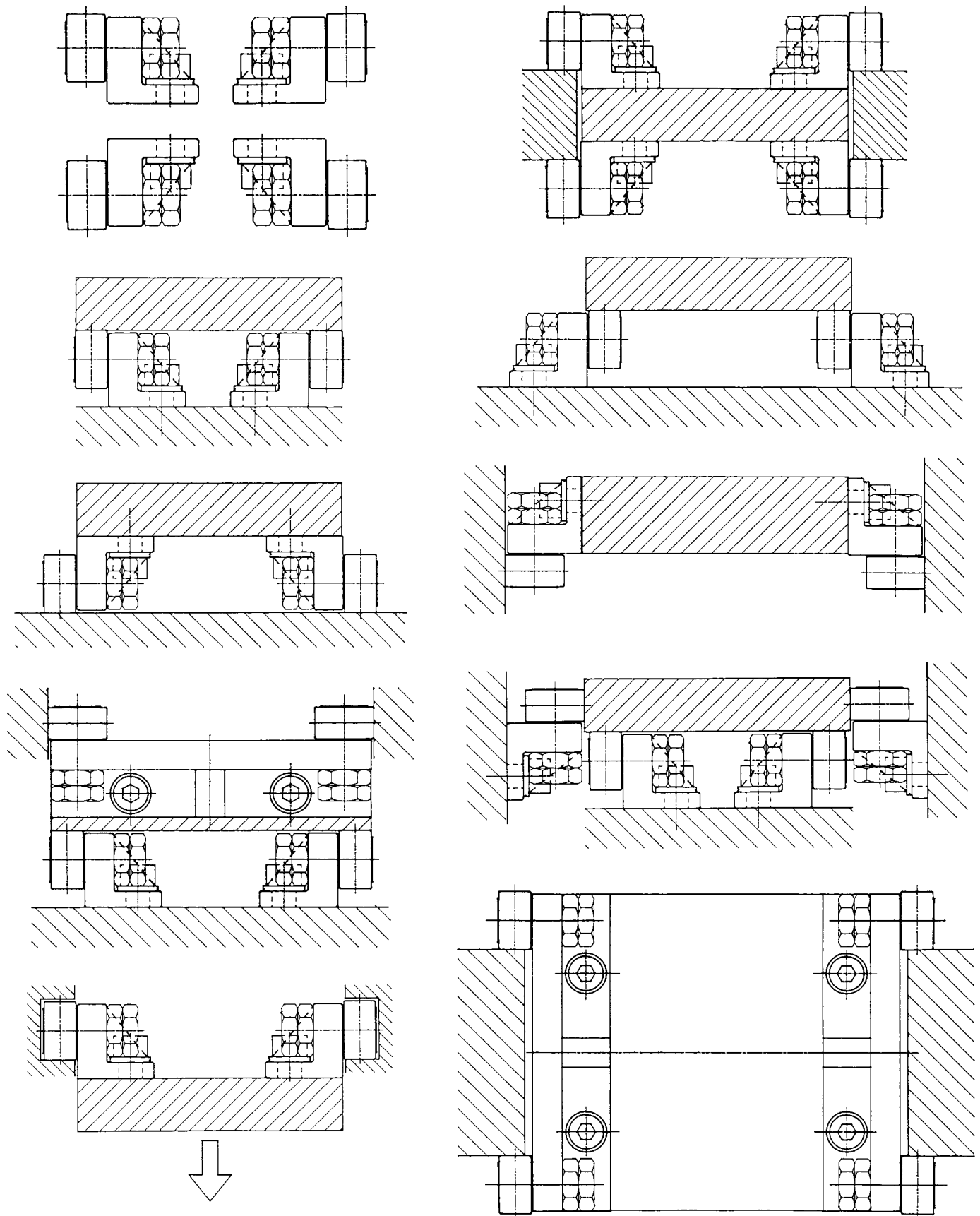
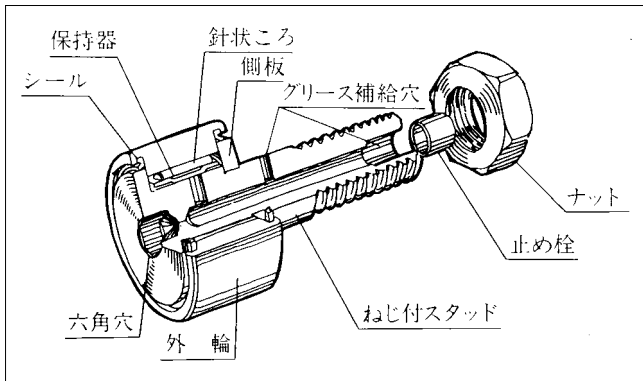


**多目的直線運動用カムフォロアーブロック**



## 構造と特長



- 1) スタッド頭部は、六角穴付構造で取付けが容易です。
- 2) 塵埃の多い環境や異物の侵入する恐れがある条件下では接触形のシール付が最適です（使用温度 - 30 ~ 100）
- 3) 転動体は針状ころを用い、大きな荷重や衝撃に耐え、又、運転トルクも小さく、静かで優れた直線運動案内機構を得ることができます。
- 4) 球面外輪は、取付け時の軸心の狂いを調整し、運転時における偏荷重を防ぎます。

## 精度規格

表253

単位：μm

呼び寸法	外 輪						ラジアル振レ (MAX)	スタッド径 d	
	外径Dm 球面		許容差 円筒		幅 B 許容差			上	下
を超え	以下	上	下	上	下	上	下	上	下
6	6							0	- 12
10	10							0	- 15
10	18	0	- 50	0	- 8	0	- 120	15	- 18

\* ラジアルスキマはすべて 8 ~ 50 μm です。

## 寿命

カムフォロアの定格寿命時間は、次式によって計算されます。

$$L_{h10} = \frac{10^6}{60 \cdot n} \left( \frac{C}{P} \right)^{10/3} \quad \text{式(15)}$$

$L_{h10}$  : カムフォロアの基本定格寿命時間 h

C : 基本動定格荷重 N

P : 動等価荷重 N

n : 回転数 rpm

## トラック許容荷重

トラック許容荷重とは、カムフォロアが接触するトラックが変形や圧こんを生ぜずに継続して使用できる荷重をいい、トラック材料の引張り強さと硬さにより、その大きさを決めています。

表256に示したトラック許容荷重は、引張強さ1250N/mm<sup>2</sup>、硬さH<sub>R</sub>C40の場合のものであり、トラック材料の引張強さ、硬さ(H<sub>R</sub>C)がこの値と異なる場合には、この値に表254のトラック許容荷重係数を乗じて求めます。

表254

引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	硬さ (H <sub>R</sub> C)	トラック許容荷重係数
820	26	0.45
960	32	0.61
1100	36	0.79
1240	40	1.00
1380	44	1.24
1520	47	1.50
1660	50	1.78
1790	53	2.09
1910	56	2.42
2070	58	2.78

## 潤滑

表255 グリース補給穴P,H

型番	スタッドネジ端(P)	スタッド外面(H)
CF6・8		
CF10		
CF12以上		

1) スタッドネジ端に設けてあるグリース補給穴(P)は、グリースニップルを圧入して使用します。

2) スタッド外面のグリース補給穴(H)を使用する場合は、ネジ端の補給穴(P)を付属の止め栓でふさいで下さい。

又、スタッド外面の補給穴(H)のふさは、機台に組込まれることにより自動的にふさがれます。

3) カムフォロア内には、予め良質のLi石けん基グリースが封入されておりますが、使用条件に応じ適切なサイクルでLi石けん基グリースを補給して下さい。

\* 使用温度は - 20 ~ + 120 です。